



秋晴のひかりとなりて楽しくも  
 実りに入らむ栗も胡桃も  
 齋藤茂吉 歌集『小園』より

提供/飯豊町

## 会長あいさつ

東京飯豊会会長 高橋正孝（中津川）



会員の皆様、この1年各分野にご活躍され成果を上げられた事、お慶び申し上げます。

私ども東京飯豊会も、大過ない1年でございました。

08年秋からの世界的規模の金融危機に因る格差社会進行の困窮現状と、2年続きの未知なる「年越し派遣村」現象にはとまどいと危機感を抱いたのは私だけではない事でしょう。

総選挙の結果はここ数年来世間全体を支配していた閉塞感を打破する出来事でした。

しかし、その後のデフレ、円高等の深刻な進行と、またかと怒りを覚える政治資金疑惑などに憂いを深く致します。

本年1月中旬飯豊町観光協会主催で開催された「いいでファンクラブ」と「ふるさといいで里帰りツアー」に参加しましたが、猛吹雪の中の雪遊び、ヤハハエロー、そば名人によるそば打ち体験など各

方面の皆様の温かく心のこもった接待を受け、次回は多数の皆さんの参加をお勧めしたいと思います。

「望郷の思いとふるさとの人々を愛する想い」を共有するメンバーを結集し、半世紀50年前発足しました東京飯豊会は来年「発足50周年記念総会」を迎えます。

創立後、諸先輩、会員皆様のボランティア精神でのご協力により何十倍にも大きく育てて頂きました。

その苦労と努力に感謝を申し上げます。

又、ふるさと飯豊町各方面の方々から多岐にわたりご協力頂き誠に有難うございました。

次回は半世紀50周年記念にふさわしい総会にと役員会において計画立案中であります。

厳しい毎日ですが、東京飯豊会の存在が同じふるさと同士、声を掛け合い喜びを共にし、少しでも日々の暮らしの励みになります事を願っております。

皆様には健やかな1年を祈念申し上げ、東京飯豊会に身近な人を一人でも多くお誘い下さいますようお願い申し上げます。

# ふるさと だより From飯豊町

## プロジェクト委員会を設立

いよいよ飯豊町では、昨年十一月に七代目町長に就任した後藤町長の公約である「にぎわい再現」に向けた事業が開始しました。



プロジェクト委員会会議の様子

母さんたちの井戸端会議や子どもたちの遊ぶ姿など、日常生活のにぎわいを再現することです。

四月一日からは、専門部署となるプロジェクト推進室が総務企画課内に

にぎわい再

現とは、イベントなどの一過性のものではなく、普段の生活で見かけることが少なくなりました。



利用したフェリー

ト委員六名、それに町長と事務局の合計三十六名が参加しました。一般

現プロジェクト

目的は、遠く町を離れ、町の夢と将来をとことん語り合ってもらいたい。それが新しいまちづくりのエネルギーになることを期待してのことです。一般の応募者二十七名、にぎわい再

七月十八日、にぎわい再現プロジェクトの一つである洋上で楽しく未来を語り合う「いいで未来号」が出航しました。

## いいで未来号の出航

最終的に委員会で作成された案は、町長に報告され、承認を受けたのち、町の施策に反映されます。

設置されました。さらに同月二十一日には、町民から公募で選ばれた十三名の委員と町長、町の事務局が出席し、にぎわい再現プロジェクト委員会の初会合が行われました。

委員の皆さんは、月二回程度集まり、「にぎわい再現」に向けた計画・事業立案の話し合いを続けています。

最終的に委員会で作成された案は、

町長に報告され、承認を受けたのち、

町の施策に反映されます。

参加者の平均年齢は三十歳。これからのまちづくりを担う人たちが、積極的に参加してください。頼もしいことでした。

一行は、新潟港から北海道小樽港までフェリーで航海しました。

フェリーの中で、参加者は班に分かれ「町の将来の理想の姿」や「今、町に必要なもの」「こんなことをやってみたい」などと思いつくままに話し合いました。そして自由に「夢」を出し合い、それを付箋に書き留めて、似ているものはグループ分けするKJ法と呼ばれる議論の方法で夢をまとめる作業を行いました。

二日目は、本町も加盟する「日本で最も美しい村」連合の発祥の地、北海道美瑛町を視察。広大で美しい丘の景観が有名な町です。残念ながら雨に見舞われ、「パッチワークの路」を満喫することはできませんでしたが、バスの中や施設内で地元組織「赤麦を守る会」の松田将照会長や町職員から、景観を守るための取り組みについて説明を受けました。本町にとっても美しい農村景観を守っていくためには何が必要かを考えるきっかけとなる有意義な研修となりました。



町長と意見を交わす参加者

帰りの海は、波は高く、フェリーは大揺れで、船酔いする人が続出しました。しかし、船上で迎えた三日目の朝からも参加者は気力を奮い起こし、「町の夢」とアイデアを班ごとにまとめる作業に集中しました。一枚の大

判用紙にまとめ、班ごとに発表。力強く自分のちの夢を語りました。各班の

発表が終わると互いに称えあうように拍手が送られていました。

午後三時、新潟港が見えてくるころには、すっかり空は晴れ上がり、海も空も真っ青でした。まるで町の未来を切り開く若者に語りかけるようでした。「荒波の試練を乗り越えたとき、きっと町には明るい未来があるはず」と。

にぎわい再現プロジェクトは次のステップに入ろうとしています。

## 川遊び



私は18歳で上京。ある航空関連の会社に勤めて来ましたが2年前60歳の定年を迎え第二の人生を歩んでいるところです。

女房・子供達と年に一度夏休みの時期に実家の高峰に帰省していますが、一番の楽しみは白川での「川遊び」でした。“でした”と言うのは近年、特に白川ダムが出来て以来の川の汚染とそれに伴う川原（広範囲な砂利、砂地）の消滅が進み、周辺がジャングル化してしまい人々が川原に立ち入りが出来にくく成ったのです。

私が高校までの学生時代は、清く透き通った水と綺麗な川原が子供達の格好の遊び場と成っていて、夏休みには先生と地域の大人達が指定してくれた安全な遊泳区域で良く遊んだものです。

地域毎に遊泳場所があったので他の場所に遠征

## 大城 忠夫（高峰）

して、何時もと違う友達と遊ぶのも大きな楽しみの一つでした。又、はや、なまず、かじかといった小魚も豊富に居たので親に“鏡箱”（四角い箱の底に透ガラスを張った物）やモリ、水中眼鏡をねだって買って貰い、毎日朝から晩まで魚取りに熱中し水浸しの一日でした。時に鯉や1メートル位のマスにも遭遇し、仕留めた時の快感は今でも忘れられません。私の息子にもそんな楽しい子供時代を体験させたいと思い、田舎に同じ年頃の子供が居た事もあり夏休みに成ると一人で泊まりに行かせたものです。

目を輝かせて帰って来る息子を見て本当に良い経験をさせた夏休みと思ったものです。それから30年位が経ったでしょうか、この今の変わり様を目のあたりにする度に本当に悲しい気持ちになります。楽しかった思い出だけが胸の中です。

## “あつという間の37年”



ふるさと飯豊を離れて48年、29歳で池袋にて飲食店「最上」を始めてから昨年7月末まで37年間のお店を立ち退きの為にピリオドを打ちました。

この仕事は定年がないのでまだまだ未練はありましたが、新たな場所で、と考えると“私もそれなりの年”“今が潮時”体は非常に元気なのですが非常に迷いました。

思えば山形の方が見ると「姉ちゃ元気？」「何か田舎の物かしえろ」なす漬、山うど、ワラビ、あさづき、うるい、アケビなどふるさとのごちそうが沢山ありました。

この間には、芋煮会、カラオケ大会、麻雀大会、旅行等等も一杯ありました。

## 中村 美寿（添川）

景気の良かった頃は着物（ふところ）いっぱいのお札が・・・楽しかったですね！

又、泥棒に入られたり、無銭飲食もありましたが、“あつという間の37年”でした。

閉店の際には屋形船（50名様）でお別れ会を催しました。本当にお客様には感謝しております。

閉店し、後片付けにおわれ、済んだ時はホットしたと同時に長年の疲れが出て、また気が抜けた様な感じがしました。

今では時間割を決め、三味線、カラオケ、老人会ヘルパー、マシントレーニング、ゴルフ練習（初めてコースにも出ました・・・はまりそう）楽しく忙しい毎日を送っています。

## 級友との再会



去年の九月十一・十二日に添川温泉にて私達、昭和二十四年度、中学卒業組の同級会があり、私も出席しました。

過去にも二年に一回位の割合で行われておりましたが、私は主人や私の病気で続いていて欠席しておりましたので、今度はどうしても行ってみたい思いが叶い参加することが出来ました。

お逢いした級友はとても元気で共に再会を喜び、そしてなつかしい子供の頃の話に大いに盛り上がり、夜遅くまで笑い声が絶えず、ふとんの中ではしみりした話で尽きることはありませんでした。

久し振りの初秋のふるさとは、実りの季節を迎えていて、田んぼは一面に黄金色の稲穂が太陽に照らされて輝き、所々に緑色の大木の屋敷林に囲まれた家々が、飯豊連峰の山々にいだかれている景観は、ふるさとを後にしてもう六十年近くになる私の脳裏

## 池田 さだ（小白川）

に焼きついている幼き日の風景そのものでした。

この美しく穏かな田園風景を車窓から眺めておりますと、中学時代の楽しかった思い出が一つ浮かんできました。

あの頃は太平洋戦争が終わって間もない頃で、秋になると一日勉強を休み、全校で蝗捕りをする行事があり、朝からおにぎりを背負ってフクベンを手に持って蝗を捕るのですが、なかなか一杯にならず、そのうち飽きてしまい、近くの土手の栗林で栗を拾って食べたり、白川の河原に行き秋グミを食べたりして遊んでばかりでいた事がなつかしく思い出されました。捕った蝗は午後、学校に持って行き、大きな鍋で茹でて販売し、その売上は学校図書を購入する資金になりました。

級友との語らいもあつという間に時間が過ぎて翌日、このような楽しい機会を作って下さった幹事さんに又の再会を約束して帰路に着きました。

## おしょうしな飯豊会



子供の頃の川の流はキラキラ光っており、空はどこまでも透けていた。天の川が洪水のように輝き、山の緑は濃くみずみずしく生きていた。

もみじや漆の鮮やかさ、刈入れ時の稲穂の黄金色が目に焼きついて離れない。

夕暮れまで友達と遊んだかくれんぼ、ベースボール、肝試し、石蹴り、等が懐かしく貧乏だったけど楽しかった事が思い出される。中学を卒業し夜行列車に揺られ集団就職したのは、貧乏から逃れたかったのと、多少の東京への憧れだった。金の卵といわれ東京へきたものの、一円でも給料の多い所と色んな事をした。あれから48年、会社

## 朝倉 重美 (中)

を定年退職し、今は年金生活。自由といえば自由だが何か足りない・・・数年前飯豊会に誘われ、懐かしい人達の交流に心が躍った。それ以来毎年参加している。故郷の現況を聞いても、生活環境はさほど変わらないが、四季を通して日本一美しい故郷飯豊町の景色にはかなわない。

今住んでいる所も富士山、相模湾を一望できる素晴らしい所だが、急にふらりと帰りたくなる。

今年「中村原幼馴染会」を作り、第一回目の宴を50年ぶりに会員10名で上野で開いた。これからは半年か一年に一回幹事持ち回りで、幹事の地元で宴を行うという事に決めた。

知らない所での宴を楽しみにしている。

## レッツGO！ サイクリング紀行



定年退職を機に、長年の夢であった故郷へ自分の足で行ってみよう！ 両親の墓参りも兼ねてレッツGO！

8/11 朝4時起床、女房におにぎり、お茶を準備してもらい、水、救急セット、

日除け菅笠、サイフ等確認。5時30分(東京・瑞穂町) 出発。国道16号は朝早く、空いていてペダルを踏む足も軽く快調に飛ばした。

40分後、何か変だ？後ろを見るとゴム紐で縛った菅笠が無く、紐だけが1本ながーく伸びて引きずっていた。何かいやな予感！これから先の旅が案じられる。2～30分歩きながら探したが無かった。菅笠が身の安全を願って身代わりになってくれたのであろうか？

気を取り直して、一気にスパート！川越、上尾、久喜、古河と北上し国道4号に入り小山に10時30分に着いた。だいぶ暑くなって来たので木陰でおにぎり、お茶で一休み。女房の作ったおにぎりうまい！最高！！宇都宮辺りからすごく暑くなり32～3度は有ろうか？体力が消耗して来た。30分毎に木陰を見つけては休み休み行った。本日の宿、黒磯に17時10分に無事着いた。一風呂浴びて夕食、冷たいビールで乾杯！ウーメー！！バタンキューおやすみ！本日の走行距離180km

## 井上 和雄 (黒沢)

8/12 朝6時30分起床、直ぐ朝食をとり、宿の女将さんに、旅の安全祈願のお守りをもらい7時30分に出発。白河、郡山、福島と緩やかな坂道が一杯あったが快調に飛ばし本日の宿、飯坂温泉に15時30分に着いた。温泉にも2回入りのんびり出来た。

本日の走行距離120km

8/13 朝6時起床、朝風呂に入り7時朝食、宿のご主人に元気で頑張ると、大きな桃を2個もらい、8時に出発。国道13号に入り、いよいよ栗子峠越え、頑張ろう！トンネルをいくつか越え、あとは長いトンネル2つ。ここで安全の為反射板をヘルメット、手足に、肩から蛍光たすき、白のグランドコートを着、マスクをし出発！トンネル内は歩道も狭く、暗く、車の轟き音が背後から迫ってくる。

物凄いスピードで追い越していく！オーコワッ、トンネルよ短くなれー！トンネルを抜けると米沢までダウンヒル、快調に飛ばし上杉神社に参拝、上杉御廟所でお参りし実家に14時30分に無事到着。お墓参りに間に合って良かった！万歳！！

本日の走行距離62km

あっと言う間の2泊3日で、楽しくも、辛くもありの思い出に残る旅でした。

『にぎわい再現の町・飯豊』に皆さんもサイクリングして見ませんか！！！！

## 地域活動に参加しよう！



私が住んでいる街は、世田谷で古くからの下町の風情が残る町として、多くの人達と交流が盛んに行われています。商店街も昔は、朝市などがあり、とても賑やかでした。

最近は大手スーパーが出店し、お店が様変わりし、飲食店が多くなり、少し活気が無くなった気がします。地域活動も様々なことに参加しておりますが、町会でのお祭り、催し物、防災活動等です。特に夜間パトロールに力を入れており、地域を1～12班に分けて、月2回防災の呼び掛けをし

## 国分 秀高 (萩生)

ながら、町内を見回っています。又町全体パトロールも月1度実施しており、役員だけではなく、一般の人達も数多く、ご協力いただき、防犯パトロールに役立てております。町の人との繋がりと、まとまりがあり、いざと言う時の災害には、今までの訓練が生かされ、役立つことかと思えます。地域の皆様のあたたかな触れ合いと人情味あふれる人とのつながりを大切に、これからもボランティアとして、地域の為に少しでもお役に立てる活動が出来ればと思っております。

皆さんもいかがですか！！！！

## “ふるさと”での懇親会



昨年10月、紅葉の見頃を待ちきれず、中津川・白川荘で、4人ほどの懇親会を行ってきました。毎年この時期に、飯豊・小国・白鷹・の温泉で旧交を温めるのも5年になりました。何と云っても同僚皆のお勧めポイントは、紅葉の山並みから顔を覗かせる『飯豊山』との事。ちなみに、小国・赤芝峡も全山紅葉し、荒川には満々と清流を蓄えた様も素晴らしい絶景ポイントですね。紅葉ドライブに感激しつつ、今夜の懇親会も期待しながら・・・飯豊に来なければ味わえない『どぶろ

## 志田 義雄（椿）

く』『飯豊牛』『イワナ』などを頂きながら、自然と会話が弾む高校時代の思い出、各地小学校の幼き時代の思い出話を“つまみ”に、夜遅くまで延々と語り合いました。一汗流した後、自分達の部屋に戻ってまた宴会・・・何時の時代も同じ事。一夜の懇親会でも、この様に盛り上がるのは、同郷で生活した者、同年代のせいでしょうか。同僚達も、還暦は過ぎ、再雇用されている人、自然を感じつつ野原に出て、畑を耕し『野菜』などを造る喜びを感じている人、皆な、それぞれが“自分の人生”に向って頑張っていました。

## 我がふるさと萩生の思い出



出羽丘陵の南端、朝日山系寺泉、熊野、葉山の山々であり、葉山の裾野豊かな森陰に点在する屋根屋根、これが私の生まれ育った故郷である。降り立ったところが萩生駅、駅舎内はガラスと静かで、大概同年輩のお年寄り5～6人ばかり。一昔前威容を誇った農協の三階建ても大分古びたまま。駅前とはいえ人影は疎ら、だが道路は完全に舗装され時折車が出入りしてやはり時代の変化を感じる。

山加の前に出て右折すると、萩生十文字までは広い直線の道路。両側は地盤整備された形の良い田んぼで、生き活きた早苗が何条も何条も直線を描く。広大な田んぼの所々に、樹木に囲まれた人家が点在し、ここが「美しい日本のむら景観コンテスト」で農水大臣賞を受賞した調和の取れた快適な農村風景であると言われるのも成る程と頷ける。

駅で一緒だった数人が後方から来る位なもの。正面葉山の麓に一際目立つ広大な緑野。ああ、あれがかつての山王原、今では見事な水田それにしても随分高い場所だったんだなと感心する。

田林の所に来ると、十文字は目前右手は田んぼに囲まれた新設の幼稚園。人影は無く、園児達は午睡でもしているのであろうか。

十文字は此処では銀座、味田菓子店、与七、新<sup>㊦</sup>、屋島魚店等々昔変わらぬ店構え。此処まで来ると知人の2、3人と必ず会ったものだ。

それで思い出すのが上京した頃の頃、帰郷した私を見かけて「今帰ったのかい、おっ母さんなんぼ喜ぶんだか」と声を掛けてくれた、孫を背に子守していた桐町のトク姐の姿が目浮かぶ。

十文字を真っ直ぐ西に向かうと、高野道、桐町を経て新沼、大平に至る。商店街を左に行けば旧役場、その前が駐在所で町上といい椿に至る。

右に行くと両側が菓子屋、呉服屋、雑貨屋、八百屋、旅館、郵便局等々、軒を並べ此処が町中、その先を町下と呼び中村を経て長井市に至る。内町の実家へは町中の吉野家旅館の角、小学校門前に入るのだが農繁期のせいか人通りは少なく店も閑散としたもの。

## 樋口 昭二（萩生）

私達の子供の頃は、役場や小学校も有り、また大平、新沼の山からの買い物客、学校帰りの子供達で結構賑わったものだ。が今では役場、学校が移転し、山からの出入りも無く、更に車社会ということで、此処農村も大きく変貌していることを実感。

小学校門前に2メートルを越す自然石の門柱が建つ。名所恩徳寺柿本紀僧上云々と刻まれた文字も風雪に朽ち今は気の付く人も少ない。

その先が私達の学び舎、萩生小学校隣接する恩徳寺と共に伊達藩の城跡で、今も濠跡を残し土塁上の杉、松の古木から僅かに往時を偲ぶ事が出来る。門前の右手は現在畑等になっているが、かつては酒造工場で広大な敷地に堀を巡らし巨大な倉庫、作業場、高い煙突、釜場、木子屋が有り、私達は敷地にあった大樽に登ったりして遊んだものだ。

小学校の手前十字路を100メートル程行った所が私の過ごした内町の家だ。此処に昭和6年から住み、成長したのだが学校は近いし買い物は便利、今にして思えば実に良い所だった。

工場の一角に白壁二階建ての瀟洒な建物があり酒屋の別荘と呼ばれていた。一面に牧草の生えた広い前庭が子供達に解放されていたから、夏等夕方になると飼育している山羊や兎等を持って来て、子供同士で薄暗くなるまで遊んだもので、今では考えられない恵まれた少年時代を過ごした事に感謝したい。



散居集落

提供／飯豊町

## 桶川全国ふるさと祭り



「中津川山村留学」、飯豊会を通して桶川市を紹介し、これまで短・長期に渡り桶川の児童がお世話になっている。

豊かな自然に育まれた環境で元気に飛び回る子供達、桶川市からも市長を初めとする、議員・職員が町を訪れている。

こんなことがきっかけで桶川市の「べに花ふるさと館」で秋に開催される「全国ふるさと祭り」に地域交流として飯豊町が毎年参加しています。

この祭りは全国から有数の特産品展示即売と郷土祭り等の披露があり、桶川市秋の大きなイベント行事となっています。



昨年は第9回（11月28・29日）にあたり、飯豊町からも恒例の大きな芋煮鍋実演に行列が出来、玉こんにゃく・飯豊牛の串焼き、その他町の特産品を「田舎なまりの言葉」での呼び込みに人気を集めてました。

## 手塚 久雄（萩生）

一方で長屋門にあるギャラリーを独占し、山村風景を写真で中津川山村留学をビデオで紹介し飯豊町のPRに参加者から好評でした。

特に山村留学でお世話になった子供と家族が来て興奮気味に話をしていたのがとても印象的でした。

会員のみなさんも機会を見て是非お出で下さい、身近にふるさとを感じられる一時です。

スナップ写真は、長屋門会場入口と大きな芋煮鍋をバックに左から飯豊会役員齊藤さん・桶川市岩崎市長さん・飯豊町役場職員鈴木さんの皆さんです



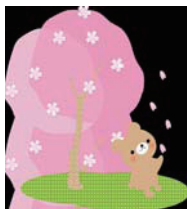
## 昔懐かしい場所

### \*中地区 鈴木 梅子

中出身の私ですが子供の頃に行った懐かしい場所。

小学生の頃、長井の戸田公園の“久保の桜”への遠足。桜の素晴らしさと、

人々の賑やかさに驚きました。萩生の十文字から随分遠い“大平”まで友達に誘われ「むらさきアケビ」取り。その美しい色と美味しい味は今でも忘れられません。



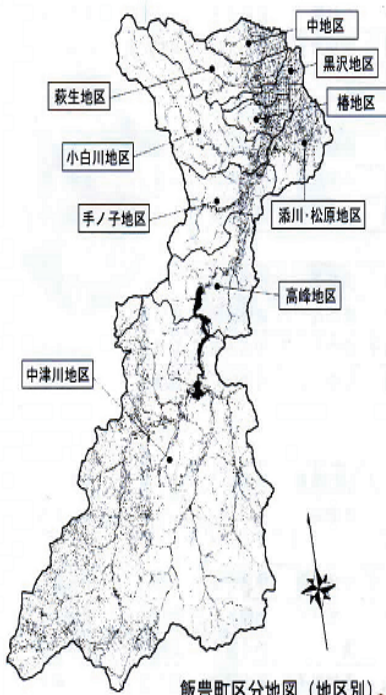
### \*萩生地区 手塚 久雄

旧豊原村萩生小学校、今は面影すら無いコの字形の木造校舎、「やまびこ学校」の豊原村版である。学用品さえまならぬ貧しい生活の中、紅一点の優しい長岡ツネ先生に学んだ昔が懐かしく思い出される。

先生は今もご健在で5年程前にお会いし当時の写真を前に懐かしいお話を伺いました。

一昨年長寿を祈願し、未筆の小さな絵「福寿草」昨年は「コスモス」を差し上げ親交を深めています。今年も帰郷し先生にお会いするのと校舎跡を訪れるのを楽しみにしている。

スケッチは、遠い昔を思い出しながらイメージで描きました。



飯豊町区分地図（地区別）。

### \*添川地区 齋藤 良一

添川昭和地区で高卒(1960年)迄過ごしました。

白川から分水して小松（現川西町）迄流れる小松掘が、夏場子供たちの恰好の遊び場でした。

当時は水着等無く素っ裸で泳ぎ、魚捕り、カワセミの美しさに目を奪われ、また牛を洗ったり（下流の下町地区の子供たちは平気で泳いでました）夜は河岸に無数のホタル飛び交い、川幅10メートル足らずでしたが今では楽しい思い出ばかりです。

1967年8月末、置賜地方を襲った羽越豪雨の大被害から白川ダムの治水事業で、今ではホタルの姿もまばらな何の変哲もないコンクリート製の狭い用水になり、昔の面影が全くなくなったのは残念です。



# 第48回東京飯豊会総会・懇親会盛大に挙行される

3月8日(日)日暮里「ホテル・ラングウッド」にて会員様始め250名余の参加と後藤飯豊町町長、菅野町議会議長・各議員の皆様、町行政関係、佐藤飯豊中学校校長、長沼飯豊中学校同窓会会長、JA山形おきたま飯豊地区代表、東京川西会、関東致芳会、花回廊ようざんロードを作る会の各友好交流団体をお招きして開催しました。第一部の総会を高橋会長の挨拶に続き、会務報告、会計報告、会計監査と議事を進め来賓のご挨拶には新町長に就任された後藤幸平町長より飯豊町政への熱い思いと当総会へのご祝辞を頂きました。続いて佐藤飯豊中学校長より創立50周年記念事業の報告と賛助へのお礼の言葉を頂きました。JA山形おきたまの青年部副委員長の高橋氏からは「出張稲作り」への当会からの支援のお礼と、これからの取り組みが述べられました。第二部は菅野飯豊町議会議長の町特産のどぶろくでの乾杯で幕あき。

しばし「あんこ餅」「ごま餅」で腹こしらえ、お酒を酌み交わす内に次第に方言での歓談となる。

ほろ酔い気分で迎えた「池田進とグリーンアイズ」の歌謡ショー、素晴らしい歌声に拍手喝采でした。尽力頂いたスナック「花笠」さんのお客様多数の参加の中から日頃の練習の成果発表の飛び入りの歌に「中々のもんだな～」と聞き惚れた後は、盛り沢山の賞品を用意してお楽しみ抽選会！番号が引かれ読み上げられる度に「えがったー」「おしい」の悲喜こもごもの声、声。余韻を残しながら全員で「ふるさと」の大合唱。町からの嶋貫さんと当会から国分さんで万歳三唱を交わし来年の再会を約束しお開きと成りました。

お帰りはご協力頂いた観光物産館の出店のふるさと満載の品々を買い求めた大きな袋、重そうな袋(漬物かな?)を両手に「ほんじゃまた来年な～」のあいさつで帰途に就かれました。

## 祝才48回東京飯豊会総会



高橋会長挨拶



後藤飯豊町長挨拶



佐藤飯豊中学校長・長沼同窓会会長挨拶



川合副会長開会のことば



物産館・お土産選び



菅野町議会議長の乾杯音頭



池田進とグリーンアイズ



友好団体・東京川西会の皆さん



昔はこうやって子供を育てたもんだよ



あっちこっちでミニ同級会開催！



故郷を懐かしみ♪うさぎおいしかのかわ♪の大合唱！！



総会・受付風景



町長賞・当選おめでとう！



来年(2011年)は50周年記念総会!!!  
ワクワク・ドキドキ楽しみにマッチョナツシ!

# 平成21年度 年会費納入者御芳名 (敬称略)

2009/12/31現在

会員様258名の方々のご協力により、ここに第8号の会報を発行する事が出来ました。有難う御座いました。

<b>[黒沢]</b>	梅津勝美	遠藤ヨ子	蒲谷春夫	菅野由佳	小林 秀	佐々木やゑ子	佐藤忠志	島貫富栄
13名	高橋雅子	中根友利子	原田洋子	平山くに	渡部 隆			
<b>[小白川]</b>	安部春次	五十嵐栄次	五十嵐信次	石島サダ	上田 隆	太田節子	小野幸一	佐原芳弘
17名	平 君代	高橋八郎	田辺俊彦	千葉マサヨ	二瓶武司	舟山吉次	舟山清次	舟山睦男
	溝呂木清治							
<b>[添川松原]</b>	安部正良	荒木ふじ子	伊藤憲子	宇田京子	梅津 勲	小関こう	勝見俊秀	金原ちゑ子
26名	小松 巖	小松勇吉	斉藤勝	佐藤よね子	山水まさ	島田四郎	庄子良子	鈴木孝男
	高橋はま子	田中とし子	新野善行	二瓶文夫	二瓶吉男	早野礼子	福田ふみ子	森 博子
	山口紘紀	新野孝司						
<b>[高峰]</b>	伊藤正光	井上武雄	沖田みゑ子	川口茂雄	鈴木清子	高橋正弘	林 洋子	本間昭二
10名	横山文男	和田清美						
<b>[椿]</b>	青木典子	安部貞夫	伊藤一敬	伊藤幸輔	伊藤順康	伊藤清一	伊藤薫男	伊藤正義
29名	井上博司	上原三男	太田千代子	大富 博	岡 文子	岡本輝子	加藤文雄	加藤洋子
	川嶋トシ子	菅野栄三	北原重行	後藤キミ	後藤道子	小林まち	高橋叔子	高橋弘子
	田村藤子	新野豊明	松山倉夫	松山清次	森本静江			
<b>[手ノ子]</b>	池田典子	今原幸子	大野スヰエ	奥山俊昭	奥山保弘	小池喜美恵	佐村孝作	佐山七郎
21名	佐山次夫	島田源三	鈴木貞次	鈴木久志	鈴木三男	高石京一	竹田輝夫	田中二男
	舟山清成	舟山繁勝	巻坂 衛	横山功子	渡部昭雄			
<b>[中]</b>	青木勝美	青木しげ子	青木道子	朝倉重美	朝倉 建	位下和子	植木玉代	片倉慶子
29名	川村 博	菅野義徳	菊地美代子	木村幸子	篠原五郎次	嶋貫勝利	嶋貫 浩	島貫正十三
	鈴木昭作	高橋英子	田所昌子	長岡信司	長岡俊昭	新留静子	野原致子	福島ミヨ子
	峯田有一	村上徳栄	若林敬一	渡部恵司	渡部聡征			
<b>[中津川]</b>	伊藤栄一	伊藤弘介	伊藤孝美	井上啓助	井上 仁	井上与一	小川京子	奥田百合子
23名	後藤篤志	後藤昭輔	近藤和子	佐藤栄子	鈴木政次	鈴木芳助	鈴木 萬	丸山光雄
	峯岸浩夫	山口哲男	山口和吉	横山建司	渡辺カツ子	渡辺常雄	渡部陽二郎	
<b>[萩生]</b>	浅間朝子	伊東武義	浮谷栄子	宇津木栄三郎	宇津木秀三	宇津木吉美	梅津文蔵	海老沢真砂子
50名	大家梅子	大山裕子	岡野芳子	小野寺瑠璃子	折原うめ	嘉藤 功	嘉藤秀一	嘉藤六郎
	菅 利夫	菊地 清	木村 清	木村俊三	組谷信子	後藤定夫	後藤節子	小林スイ
	坂田美江子	坂本喜美子	佐藤豊子	柴田かね子	嶋津和心	東海林房子	鈴木俊子	高橋 昭
	高橋茂夫	高橋みつ	谷口秀子	手塚金治	手塚久良	手塚 太	富永信子	中山淑子
	長谷川トク	樋口昭三	樋口 孝	廣瀬廣子	森田希世	山田正子	吉越 京	渡部新吾
	渡部とく	渡部博士						
<b>[役員]</b>	浅野慶吉	池田さだ	伊藤 茂	伊藤長七	井上和雄	今村ひろ子	男鹿善次	小笠原辰男
40名	小川悦男	織田英昭	川合かよ子	国分秀高	齋藤ふみゑ	佐藤善治	佐藤包子	佐原利博
	志田幸次	志田義雄	島田栄子	鈴木伊勢夫	須藤勝志	高橋正孝	谷本亮司	土田正一
	手塚敏浩	手塚久雄	中澤サタ	長沼 清	中村美寿	二瓶孝徳	樋口昭二	深瀬忠次
	舟山繁太郎	宮城慶吾	八鍬勝夫	山口弘二	山口美恵子	横山忠雄	吉田キヌヨ	渡部志郎



# めざみの里観光物産館



観 望 物 産 館  
MEZAMI

道の駅 いいで

山形県西置賜郡  
飯豊町大字松原  
1898番地

TEL 0238-86-3939

FAX 0238-86-3030

いいで  
どんでん平ゆり園



開園時間

6/ 上旬 ~ 7/ 下旬  
9:00 ~ 17:00

入 場 料

大 人 600円  
小 人 200円 (小中学生)  
幼 児 無 料

お問い合わせ

いいでどんでん平ゆり園  
TEL 0238-78-5587  
<http://www.dondendaira.com>

# 「中津川」 四季折々の楽しみ

## 【新緑の景観】

4月中旬～5月中旬



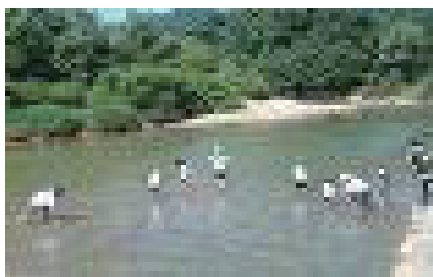
## 【山菜】

5月下旬～6月



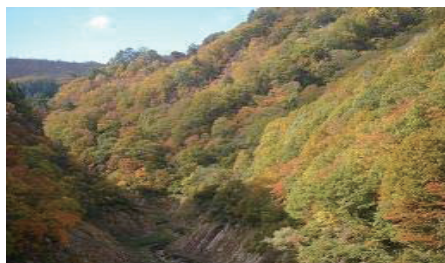
## 【川遊び・昆虫】

7月～8月



## 【紅葉景観】

10月中旬～11月上旬



## 【雪景色】

12月～2月



## 【どぶろく】

11月下旬～4月



白川温泉

# 白川荘

〒999-0424

山形県西置賜郡飯豊町数馬218-1

お電話 0238-77-2124

ファックス 0238-77-2125



〒999-0424

山形県西置賜郡飯豊町大字須郷 421-1

お電話 0238-78-0010

ファックス 0238-78-0020

<秘境温泉 神秘の湯>

## 広河原間欠泉 湯の華

間欠泉の湯を浴びながら入れる炭酸ガス自噴の露天風呂はここだけ。  
飯豊町最南端、福島県境の飯豊連山と霊峰榎峰に挟まれ、ブナの林に  
囲まれた谷あい自噴する間欠泉です。積雪期・冬季は休業します。  
営業期間・宿泊予約・その他は、お問い合わせ下さい。

所在地：飯豊町大字広河原字湯ノ沢 電話/FAX 0238-78-0045 伊東 直吉

アクセス\*東北道山形蔵王ICより約2時間・JR手ノ子駅より車で約1時間

白川ダムの十四郷荘より南下し広河原地区へ途中岐点を東沢方面へ曲がり7km



皆さんのふる里から

# 飯豊米

お届けいたします



お問い合わせは 添川の

**(有) 銀 波**

代表 新野 純一

TEL 0238-74-2147

FAX 0238-74-2031、7031

e-メール [ginnami@beige.plala.or.jp](mailto:ginnami@beige.plala.or.jp)

開湯20周年 300万人 来場達成!!!

あだまりの宿

みどりの中で健康づくりを。



いいで 添川温泉  
しらさぎ荘

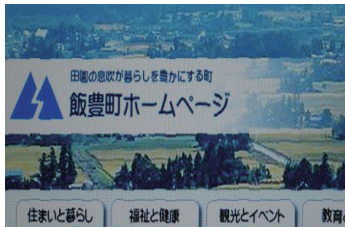
〒999-0605

山形県西置賜郡飯豊町大字添川3020-5

電話 (0238)74-2161

FAX (0238)74-2162

ふるさと情報コーナー



飯豊町役場

http://www.town.iide.yamagata.jp

飯豊町役場と飯豊町観光協会のホームページでは色々なイベントの紹介や出来事、また、四季折々の今が見られるライブ映像、広報飯豊の紹介等々古里を身近に感じることが出来ます



飯豊町観光協会

http://www.iikanjini.com

このたび、いいで“Fun”Club通信で紹介されている：インターネットでお買い物「まるごと（いいで町）特産ショッピング」が、検索をぼちっとな、をすれば出来ます。ちょっとやって見てください！！



飯豊町商店街

http://iide-market.jp

飯豊町商店街

検索

ぽちっとな♪

広報部からのお願い

次号に向け、会員の皆様からの原稿、ふるさとの思い出、生きてきたこと、同級会案内、尋ね人、日常の何気ない気付き、短歌・俳句など何でも（600字程度）を下記までお寄せ下さい。

\*今回から広告掲載は個人の方からも受け入れることに致しました。次号への掲載をお待ちしております。

広報部長 新野 孝司

TEL&FAX: 045-481-4554

〒221-0862 横浜市神奈川区三枚町138-23

事務局長 志田 義雄

TEL: 049-244-3940

〒350-1136 川崎市下新河岸69-66

編集後記

昨年の漢字は「新」でした。新しくなることが全て良くなることと期待したところ、錯覚であるやの事象が多く見られ、戸惑いを覚える連日です。

今年は冬季五輪、サッカーW杯を始め政治、経済、科学、芸術文化の各分野で大いに活躍・成果を期待し、明るく活力ある世の中となり、漢字が「鮮（あざやか）」になる様願うことしきりです。飯豊発の色々な活動を見聞きするにつけ、故郷は頑張っていると感じ私達も励まされています。

親しみ、そして思い出深い投稿如何でしょうか。

編集：宮城、志田、井上、齋藤、深瀬、新野